

株式会社 日新化学研究所

生産現場のお悩みを解決する ケミカルアシスタント

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



生産現場のお悩みを解決するケミカルアシスタント



全員参加で品質向上を図り、最高水準の製品を提供する

業務内容

研究開発力で様々な薬品を提案

紙バルブ用薬品、繊維工業用薬品などを手がける工業用助剤メーカー。製紙業界での納入実績は高く、加藤晴雄社長は「製造工程のどこかで当社の薬品を使用して頂き感謝している」と語る。伸線分野、印刷分野、建材分野などの工業用薬品を含めるとラインナップは全部で約1000種類（平成26年3月現在）。一年間に顧客から持ち込まれる案件は1000件前後に及ぶなど研究開発力に定評がある。大手メーカーには出来ないきめ細かな対応力も持ち味で、積極展開している。

強み 社員の70%が技術者。研究開発重視の社内風土

全社員の70%が化学系技術者で製造部門や事務部門のトップに化学系の社員を配置する。研究開発力を維持・発展させるのが狙いで、創業以来、技術者重視の体制を堅持。それによりきめ細かな対応力を付加しているのが強み。例えば製紙の場合、同じ薬品を使ったとしても地域における水質の違い、使用する原料チップの違いなどに混ざってくるお悩みも。古紙が新たな対応が求められる。そこで、同社では様々な要因をきめ細かく分析した上で、製造現場にマッチした薬品を提案、顧客から信頼を獲得している。そのほか京都大学、大阪大学、名古屋工業大学、鳥取大学なども連携して最先端の薬品開発を進めるなど研究開発力と対応力の向上に余念がない。

人材育成

人材を人財に。経営哲学勉強会で会社方針を徹底。

本社工場では毎週月曜日に自由参加型の「経営哲学勉強会」を実施。川之江工場（愛媛県四国中央市）や富士営業所（静岡県富士市）など全国にある製造・営業拠点にも勉強会のビデオなどを配布して、経営方針の周知徹底を図る。また、ISOに準じて製造方法の勉強会を開くほか、製造部門のスタッフには作った薬品がどこに使われているのかを説明するなど提案型企業として社員教育に力を入れる。新入社員の育成は、製造現場を1年間ほど経験した後、適性により研究部もしくは開発部に配属する仕組み。



年間1,000件前後の案件に対応する本社研究棟

今後の展望

お客様絶対第一主義で、技術者中心のサービス集団を目指す

「量より質」を追求方針で、加藤雄一朗取締役企画室次長は「お客様絶対第一主義をモットーに技術中心のサービス集団として磨きをかけていきたい」と抱負を語る。また生産面においても社内では「夢工房」と呼ばれている外見からは、一見古い倉庫に見える建物に、数々のパイロットプラントを並べ、連続乳化工装装置等を導入。効率生産を追求し夢を追う。家庭用品や電材など幅広い分野を対象に新規開拓にも取り組むが、「まずはカスタマイズとクイックレスポンスで顧客の要望に応えていきたい」と語る。

COMPANY PROFILE

株式会社 日新化学研究所

大阪26

大阪26

ISO 9001

当社の歴史

昭和6年の創業当時から化学研究者が直接、生産現場のお悩みを聞きに企業を訪問、個別案件に合わせた最適薬品の提案をモットーに事業展開してきました。昭和15年に特許を取得し生産を開始した抹香鯨の脳油を発煙硫酸で分解処理して得られるピッチコントロール剤は昭和25年頃から全国の製紙工場で採用されるなど、60年経った現在も当時より「NISSIN-PCM」、「日新-ピッチコントロールメソッド」として脈々と受け継がれたチャレンジ精神で事業を展開しています。

昔も今も、「私たちはあらゆる工場の生産現場を元気にするケミカルアシスタントです」

代表取締役社長 加藤 晴雄さん



■主な事業内容
界面活性剤・油剤の研究開発と生産・販売

■主な取引先（納入先）
製紙メーカー、繊維メーカー、伸線メーカー、建材メーカー、印刷メーカーなど

住所 / 〒569-8520 高槻市大塚町1-2-12
TEL / 072-671-5101
FAX / 072-671-2289
創業 / 昭和6年3月
設立 / 昭和30年2月
資本金 / 7,500万円
従業員 / 80名

<http://www.nissin-kk.co.jp/>